

グーグル

Google フォト

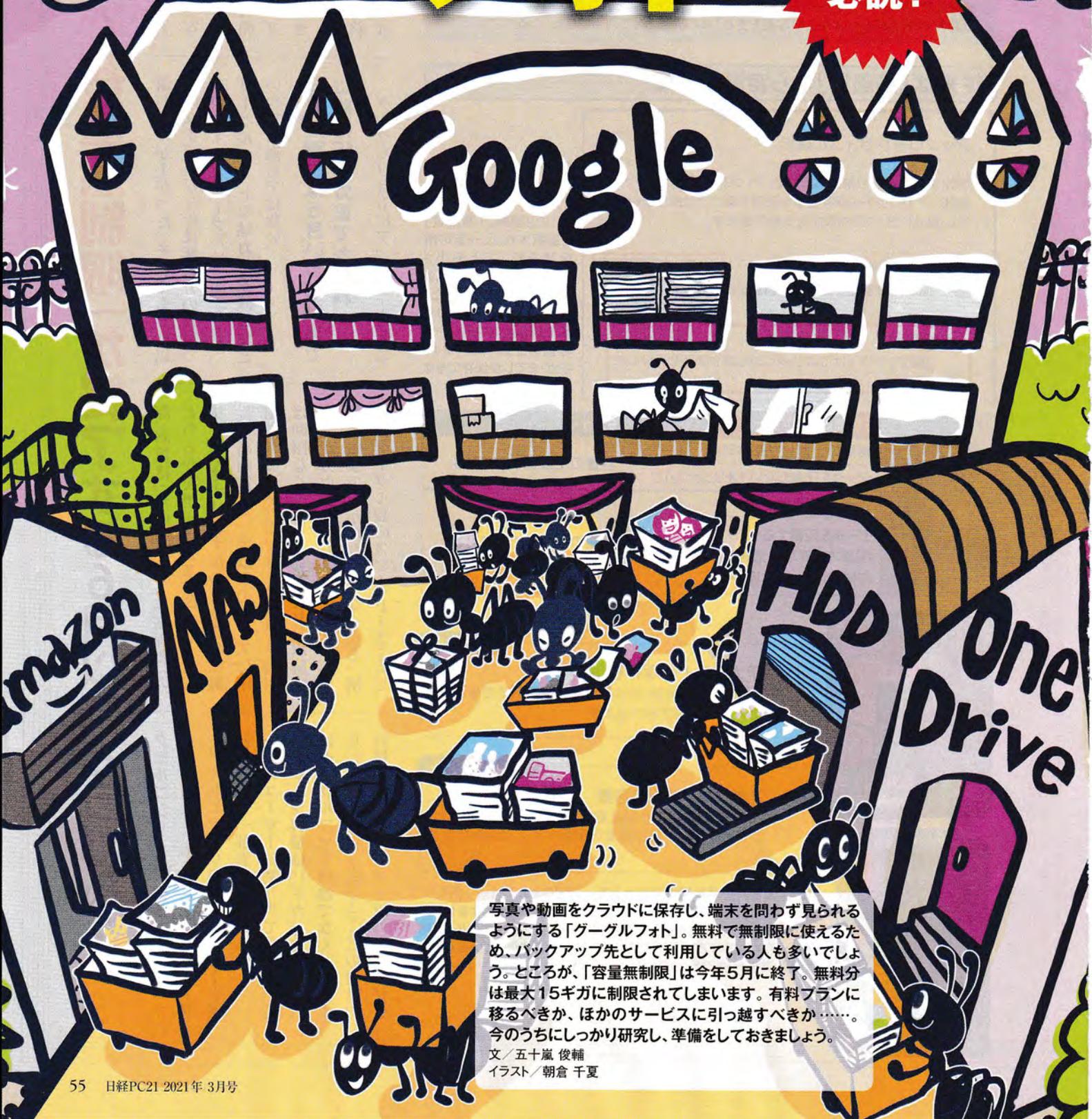
特集

どうする?

無料&無制限は
5月まで!

利用者
必読!

Google



写真や動画をクラウドに保存し、端末を問わず見られるようにする「グーグルフォト」。無料で無制限に使えるため、バックアップ先として利用している人も多いでしょう。ところが、「容量無制限」は今年5月に終了。無料分は最大15ギガに制限されてしまいます。有料プランに移るべきか、ほかのサービスに引っ越すべきか……。今のうちにしっかり研究し、準備をしておきましょう。

文/五十嵐 俊輔
イラスト/朝倉 千夏

「無料で容量無制限」が終了する6月以降どうなる？

月間のユーザー数が10億人以上（2019年時点）に達するという写真・動画向けのクラウドサービス「グーグルフォト」。2015年のサービス開始以来、無料かつ容量無制限でアップロードできることから人気を集めてきた。だがグーグルは昨年11月、2021年5月末で容量無制限のサービスを終了すると発表（図1）。ユーザーからは

落胆の声が上がった。それでも8割以上のユーザーが3年は無料分の容量でまかなえるとグーグルは主張するが、グーグルフォトの魅力が激減したといっても過言ではない。

容量無制限は5月いっぱいまで以降は15ギガまでが無料
グーグルフォトにアップロードする

際、画質は「元のサイズ」と「高画質」のどちらかを選択できる（図2）。「元のサイズ」はオリジナルのままなのにに対し、「高画質」は一定以下のサイズに圧縮される。これまでは「高画質」を選べば制限なく保存できたが、6月以降は容量がカウントされ、利用可能な容量の上限までしか保存できなくなる。例

「クセル」シリーズ（図3）。実際、スマホ用の「フォト」（iOS版では「グーグルフォト」）アプリの設定メニューも他社の端末と一部異なっている。
無料ユーザーに割り当てられているストレージ容量は15ギガ。ただし、これはグーグルフォト単独でなく、「Gメール」や「グーグルドライブ」との合計の容量だ（図4）。フォト以外のサービス

5月末で写真と動画の容量無制限が終了

「高画質」なら容量は無制限

「高画質」でも容量の上限あり

2015年5月	2020年11月	2021年6月
「グーグル+」から独立する形でサービスを開始	無料・容量無制限の終了を発表	画質にかかわらず無料ユーザーは合計15ギガまで

図1 グーグルフォトはサービス開始以来、「高画質」の設定であれば写真や動画を無制限にアップロードできるのが魅力だった。しかし、2021年6月以降、「高画質」の設定でも最大15ギガ（Gメールなどの容量を含む）までしか無料で利用できなくなる

従来は「高画質」なら容量無制限

アップロードサイズの選択

2021年6月1日より前に高画質でバックアップされたファイルは、アカウントの保存容量を使用することはありません。[設定] でいつでも設定を更新できます。

- 元のサイズ
画質を変えずに写真や動画を保存します
- 高画質
画質をやや下げてより多くの写真や動画を保存します

図2 グーグルフォトへのアップロード設定は、「元のサイズ」と「高画質」の2種類。「高画質」を選択すれば、一定の解像度を超えると縮小され、データも圧縮されるが容量は無制限だった。だが6月以降は、「元のサイズ」と同じくストレージ容量の上限（無料は15ギガ）までしか保存できなくなる

	5月末まで	6月から
元のサイズ	容量の上限まで保存可能 データを圧縮しない（オリジナル）	容量の上限まで保存可能
高画質	容量の制限なし データを圧縮する 写真：1600万画素超は縮小 動画：1080p超は縮小	容量の上限まで保存可能



ピクセル

アカウントの保存容量
お使いの Pixel 3a から無料、容量無制限で高画質のバックアップができます



ピクセル以外

アカウントの保存容量
2021年6月1日より前に高画質でバックアップされたファイルは、保存容量を使用することはありません

図3 グーグル製のスマホ「Pixel（ピクセル）2」～「同5」については、「高画質」でのアップロードが容量無制限となるサービスを6月以降も継続（左の写真は2020年発売のピクセル5と同4a）。スマホ用のアプリの設定もピクセルでは異なっている（上）。ただし次世代機でどうなるかはわからない

無料の容量は3サービス合計で15ギガ



図4 グーグルフォトで無料で利用できる容量は15ギガだが、これはGメールとグーグルドライブを含めての合計だ。ポリシーの変更に伴い、グーグルドライブでは6月以降、新たに作成されるドキュメント、スプレッドシート、スライド、図形描画なども容量計算の対象になる

ファイル削除のルールを発表

- グーグルフォトを2年間利用していない場合(各サービスごとに判断)
- 保存容量の超過が2年以上続いている場合(グーグルフォト以外のサービスも含む)

図5 グーグルフォトの容量無制限の終了以外にも、グーグルはファイル削除の方針を決めた。2年間容量の超過が続くか、2年間利用していないとファイルが削除される可能性があるという。とはいえ、実際の削除の3カ月以上前に通知や警告が届き、削除を回避する手段が案内されるというからそれほど心配はいらないだろう

放置アカウントに要注意
削除される前に対策を

も利用している場合は、フォトで使える容量はさらに減る。

グーグルによる6月以降のルール変更はほかにもあり、2年以上放置しているサービスからファイルを削除する可能性を明らかにしている(図5)。従って、グーグルフォトに関する注意点は2つ。1つめは2年間利用していない場合。これはGメールやグーグルドライブと別々に判断され、サービスごとにファイルが削除されるという。2つめは容量超過が2年以上続く場合。この場合は、グーグルフォトだけでなく

くGメール、グーグルドライブも含めたすべてのファイルが削除されてしまうので要注意だ。

ともあれ、5月末まではこれまで通り容量無制限。今のうちに容量を節約したり、まとめてアップロードしておいたり、対策を講じておくとい。有料プランへの移行や他社サービスへの引越しを検討する時間的な余裕も十分にある。また、クラウドにこだわらず、ネットワーク接続のHDD(NAS)に移行するというのも選択肢の1つ。ユーザーによって必要な容量や予算、機能はさまざま。図6にフローチャートを設けたので最適解を見つけたい。

容量無制限が終了するまでに取るべき手段は?

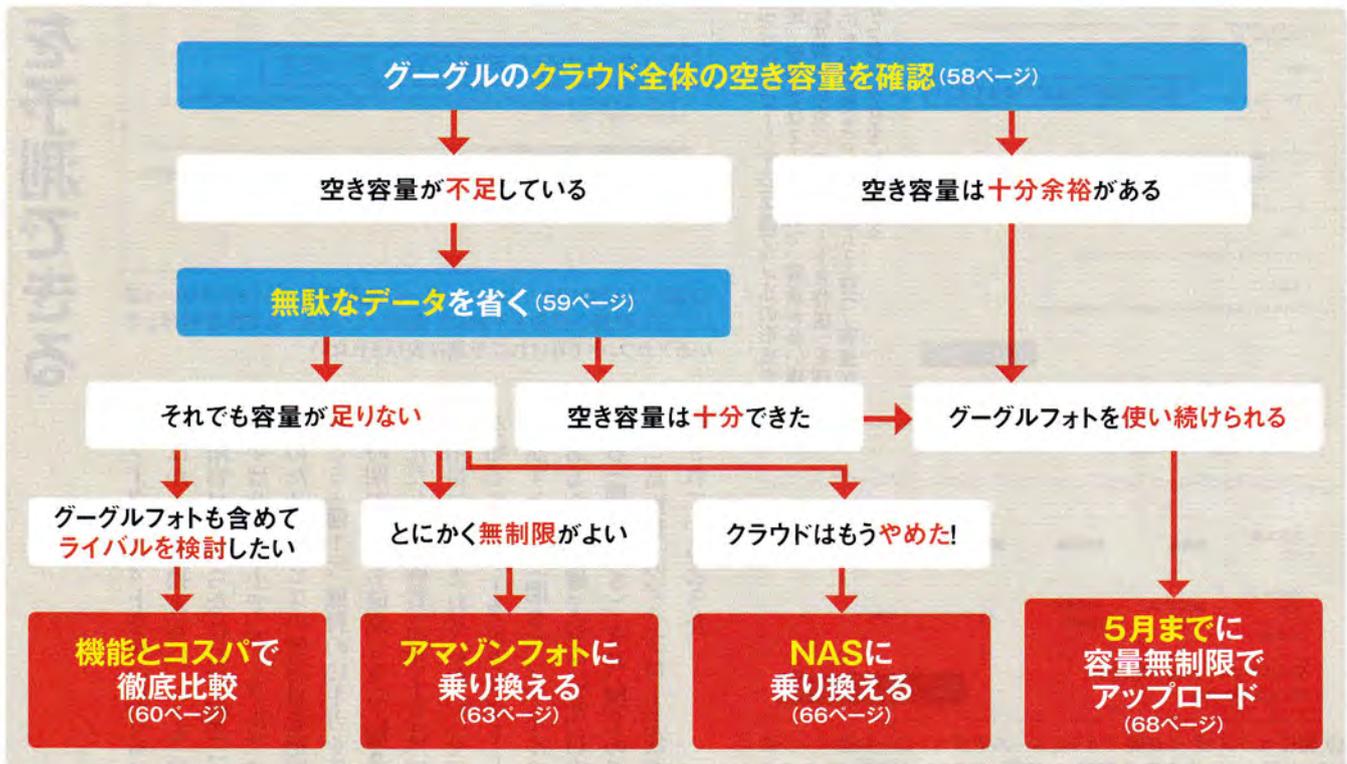


図6 今後グーグルフォトをどう利用するかは、クラウドストレージの空き容量に余裕があるか、グーグルフォトの機能を重視するか、ランニングコストを優先するかといったことに対するユーザーの考え次第。本特集を参考に、方針を検討してほしい

エクスポートで「高画質」の使用量を把握

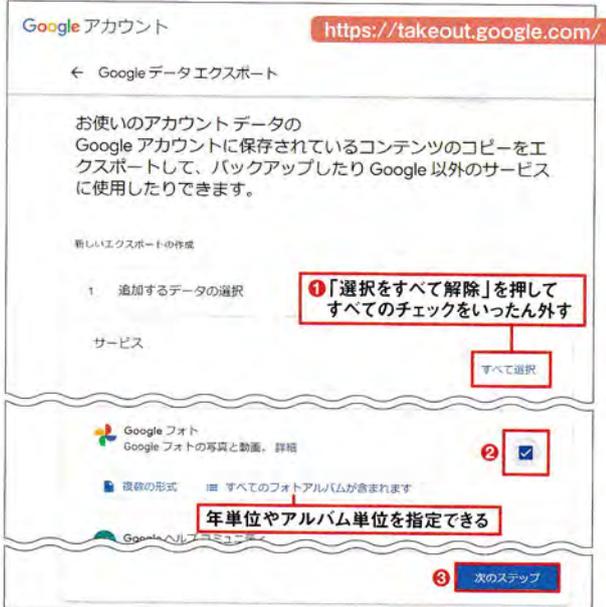


図3 「Googleデータエクスポート」では、アカウントに保存されているデータの一括ダウンロードが可能。最初はすべてのサービスにチェックが付いているので、「選択をすべて解除」を押してから「Googleフォト」にチェックを入れ、「次のステップ」を押す(1~3)。なお、「すべてのフォトアルバムが…」を押せば、年単位やアルバム単位でデータを絞ってダウンロードできる

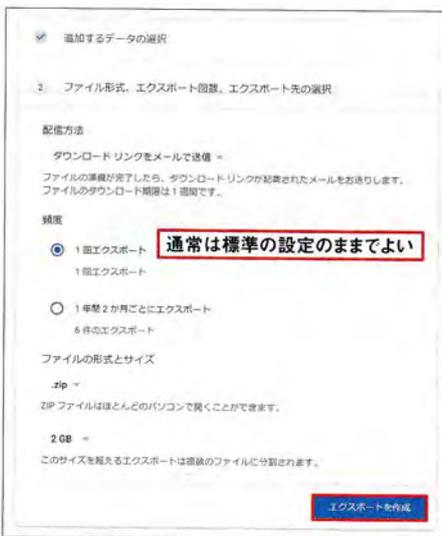


図4 この画面でダウンロードする圧縮ファイルの形式や分割サイズを指定。標準ではZIP形式で、容量が多い場合は2ギガごとに分割される。「エクスポートを作成」を押すと圧縮ファイルの作成が始まるのでしばらく待つ。容量が大きいと数時間から数日かかることもある



図5 エクスポートが完了するとメールでダウンロード用ページのURLが届く。リンクの有効期限は1週間。このページを開くと全体の容量がわかる。なお、アルバムに登録している写真や動画は重複する仕様で、別途メタファイル(64ページ図6参照)も含んでいる

現状の合計使用容量を知る



図1 上記のURLを開いてログインすると、GoogleフォトとGメール、Googleドライブの使用容量の合計と内訳がわかる。5月までに「高画質」でGoogleフォトにアップロードした写真・動画は計算対象から除外される

無料分がいっぱいになる予測日を調べる

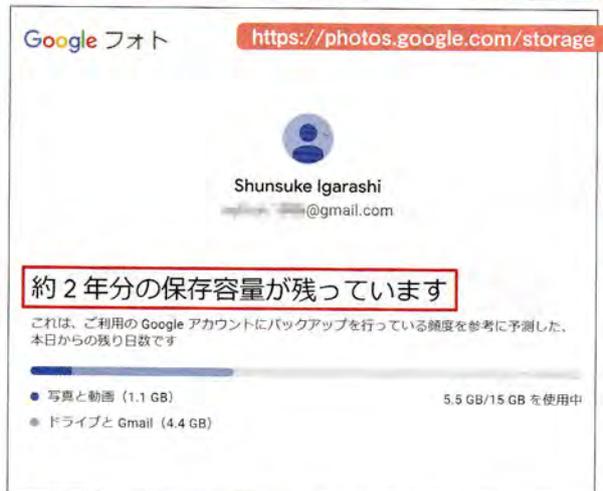


図2 上記のURLでは、ユーザーの使用頻度から15ギガがいっぱいになる時期の目安を予測して表示してくれる。ある程度利用しているアカウントでなければ予測は表示されない

Googleフォトを使い続けるにしても、自分の使用容量を知らなければ始まらない。まずはサイト上で、Googleフォトを含めた3サービスの使用量を把握しておこう(図1)。無料の15ギガを使い切る時期の予測も確認できる(図2)。ただし、「高画質」のデータは、図1の使用量には含まれていない。その容量を知るには「データエクスポート」機能を試すとよい(図3)。ファイルの重複があるなど正確ではないが、目安にはなる(図4、図5)。なお、図2の予測には、「高画質」のアップロード状況も加味されているようだ。

サービス全体の無駄を省く

ストレージ管理ツール

https://one.google.com/storage/management

アカウントの保存容量の管理

不要なアイテム、破棄したアイテム、サイズの大きいアイテムを確認、削除して、Gmail、Google フォト、Google ドライブの空き容量を増やしましょう。詳細

ゴミ箱に残っているファイル

破棄されたアイテム

破棄したアイテム

破棄したアイテム

Gメールの添付ファイル

破棄したアイテム

破棄したアイテム

破棄したアイテム

グーグルドライブのファイル

破棄したアイテム

破棄したアイテム

破棄したアイテム

グーグルフォトのファイル

破棄したアイテム

破棄したアイテム

破棄したアイテム

図4 上記のURLから「ストレージ管理ツール」を開く(58ページ図1で「アカウントの空き容量を増やす」を押してもよい)。すると、グーグルフォトだけでなくGメールやグーグルドライブで、ゴミ箱に入ったままだったり、容量を多く消費しているファイルがわかる

6 個選択中

アカウントの空き容量を増やすには、削除するファイルを選択してください。詳細

1 不要なファイルにチェックを入れる

アイテム	サイズ	削除日時
JF038_350A.jpg	7 MB	2008/11/13
JF095_350A.jpg	7 MB	2008/11/13

図5 「サイズが大きいアイテム」の各項目を選択すると、実際にファイルを確認して削除が可能(1,2)。この画面はグーグルフォトの例だが、Gメールとグーグルドライブの場合はゴミ箱に入らず完全削除になり、復元できなくなるので十分に注意すること。Gメールの場合はメールごと削除される

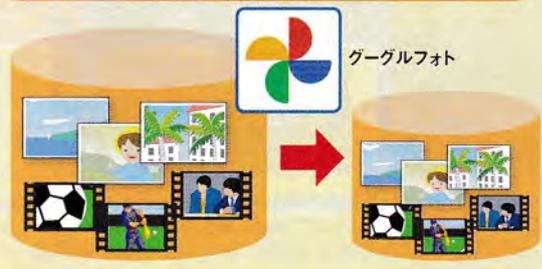
グーグルフォトを無料で使い続けたら、15ギガ以内でやり繰りする必要がある。グーグルフォトにアップロード済みの写真と動画を圧縮するか、3サービス全体で無駄を省いて空きを確保するのが定石だ(図1)。

「元のサイズ」でアップロードしているファイルが多いなら、「高画質」に変更すれば、画質は落ちるものの圧縮した分だけ容量が空く(図2、図3)。

サービス全体で見直すなら、「ストレージ管理ツール」が便利。各サービスで容量が大きいファイルを提示してくれるので、効率的にムダなファイルを片付けられる(図4、図5)。

手軽にムダを削減

1 既存の写真・動画を圧縮



2 サービス全体で見直す

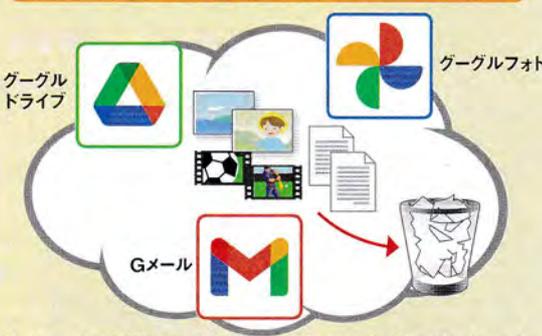


図1 6月以降も無料でグーグルフォトを使い続けたいなら、無料分の15ギガの範囲内で空きを確保する必要がある。Googleが用意する手段は2つ。既存の写真・動画を「高画質」の条件で圧縮するか、グーグルフォトと容量を共有するGメールやドライブを節約するかだ

容量が大きい「元のサイズ」を圧縮

Google フォト

設定

写真と動画のアップロード サイズ

Google フォトのストレージポリシーの最新情報をご確認ください。詳細

元のサイズ
画質を委ねずに写真や動画を保存します

高画質
画質をやや下げたことでより多くの写真や動画を保存します

100 GB を月額 ¥250 で購入

容量を解放

容量を解放

図2 グーグルフォトの右上の歯車ボタンを押し(1)、この画面が開いたら「容量を解放」を押す(2)

元のファイルを高画質に圧縮します

写真や動画を元の解像度から高画質に圧縮することで、1.1 GB の保存容量を開放します

- また、BloggerなどのGoogleサービスにアップロードしたファイルも圧縮されます
- GoogleドライブやYouTubeのファイルには影響しません

詳細

圧縮して構わなければ押す

キャンセル 圧縮

図3 「元のサイズ」でアップロードしていた写真と動画を「高画質」に圧縮する。図の例では約1.1ギガの節約になる。一度圧縮すると元の画質には戻らない。問題なければ「圧縮」を押す

節約編

無料で使い続けるなら極限まで容量を節約

特集 たっぷり使う Google フォト

ライバル比較！乗り換えるなら機能とコスパで選ぶ

3大クラウドを料金・容量・使い勝手で徹底比較

	グーグル Googleフォト	アマゾンフォト Amazon Photos	ワンドライブ OneDrive
サービス			
提供事業者	グーグル	アマゾン	マイクロソフト
URL	https://photos.google.com/	https://www.amazon.co.jp/photos	https://onedrive.live.com/
基本容量	15ギガ	無制限(写真) / 5ギガ(動画)	5ギガ
条件	Gメールやドライブなどの使用容量も含む	プライム会員(月500円/年4900円)が対象	
有料プラン	100ギガ:月250円 (年2500円)	100ギガ:月250円 (年2490円)	100ギガ:月224円
	200ギガ:月380円 (年3800円)	1テラ:月1300円 (年1万3800円)	1テラ:月1284円 (年1万2984円)
	2テラ:月1300円 (年1万3000円)	2テラ:月2600円 (年2万7600円)	*オフィスの使用权などが付属 (マイクロソフト365 パーソナル)
そのほかの大容量プラン	10テラ:月6500円~ 30テラ:月1万9500円	3テラ:年4万1400円~ 30テラ:年41万4000円	
最小プランのコスパ	2.5円/ギガ(月)	2.5円/ギガ(月)	2.24円/ギガ(月)
写真検索	○	○	△(「フォト」アプリを使用)
アルバム共有	○	○	○
編集	○	○	△(「フォト」アプリを使用)
コラージュなどの自動作成	○	×	×
フォルダー構造	×	△(アマゾンドライブで反映)	○
同期ツール	パソコン	○	○
	スマホ	○	○

図1 グーグルフォトにアマゾンフォト、ワンドライブを加えた3大クラウドサービスについて徹底比較した。機能面ではグーグルフォトが一步リードするが、容量面ではアマゾンフォト、コスパならオフィス使用权付きのワンドライブにも利点はある。アマゾンフォトは、プライム会員向けという意味では有料だが、「プライムビデオ」など多彩なサービスも利用できる点でお得だ

写真・動画向きのクラウドサービスはグーグルフォトに限らない。ならばグーグルをやめて別サービスに移るという選択肢もある。ここでは大手の「アマゾンフォト」と「ワンドライブ」を加えた3つを徹底比較した(図1)。

容量面で魅力的なのがアマゾンフォト。有料のプライム会員向けで、動画は5ギガまでだが、写真なら容量は無制限。すでにプライム会員なら追加料金なしで利用できてコスパが高い。ワンドライブは容量が5ギガと少ないのが弱点だが、オフィスとセットになった1テラの有料プランがある。オフィス利用者なら検討の価値ありだ。だがグーグルフォトも、検索や編集といった機能が充実している点で捨て難い。

そこで機能面も比較してみよう。まずは写真の検索。3者はいずれもAI(人工知能)によって被写体を自動判別して「タグ付け」してくれるので、名前などで被写体を探せる。精度はグーグルフォトが一步リード(図2~図5)。写真に特化していないワンドライブは、ウィンドウズ10標準の「フォト」アプリと連携しなければ検索できない(図6)。グーグルフォトの泣きどころがファイル管理だ。アマゾンフォトやワンドライブと異なり(図7、図8)、フォルダー単位でアップロードしてもクラウド上では維持できない。写真や動画を



⑥ 図6 ワンドライブ自体に自動タグ付けの機能はなく、ウェブ上でキーワード検索はできない。Windows 10標準の「フォト」アプリをワンドライブと連携させることで、自動分類機能が働く(①②)。とはいえ、やはり精度はグーグルフォトには及ばない印象だ

グーグルフォト以外はフォルダー分けOK



⑦ 図7 アマゾンフォトではフォルダーごとアップロードしていても写真や動画を一覧で表示する。右上のユーザーアイコンから「Amazon Drive」を選択するとアマゾンドライブが開き、フォルダー構造が維持されているのがわかる



⑧ 図8 ワンドライブはもともとファイル用のストレージなので、フォルダー構造は維持される。左側の「写真」を選択すれば、各フォルダーに保存されているすべての写真と動画を一覧表示してくれる

ほかの人に見せたいときは、3者ともアルバム共有用のURLを発行できる。ユニークなのはアマゾンフォト。プライム会員以外にも写真を容量無制限で共有可能だ(次ページ図9、図10)。

スマホで撮影した写真・動画を自動でアップロードできるアプリは3者そろ(図11)。独自機能では、コラージュ写真やGIFアニメを手軽に自動作成できるグーグルフォトが光る(図12)。

グーグルマップと連携して撮影場所がわかるのもうれしい(図13)。

総合的に見ると、使い勝手はグーグルフォトが一枚上。この機能性を手放したくなければ、有料プランを検討するとよいだろう(図14、図15)。

検索機能はグーグルフォトがリード

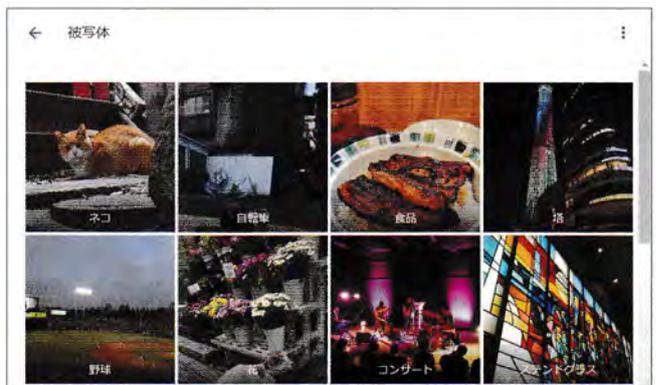


グーグルフォト

⑨ 図2 3つのサービスはいずれも被写体をAI(人工知能)で認識して自動でタグを付けてくれるが、精度ではグーグルフォトが頭一つ抜けている。上部の検索欄で被写体の種類や撮影シーン、場所などをキーワードとして直接入力して検索できる



⑩ 図3 画面左の「アルバム」から「人物」(または「人物とペット」)を選択すると写真に写っている人物が一覧表示され、ある人を選択すると、その人物が写っている写真をまとめて表示できる。服装や髪形などが変わっていても検出される



⑪ 図4 グーグルによってどんなタグが付けられているかを確認したいなら、画面左の「アルバム」を選択して「被写体」を押せばよい。被写体やシーンなどさまざまなジャンルのタグが付けられていることがわかる



⑫ 図5 アマゾンフォトも、グーグルフォトと同様に自動でタグ付けされる。例えば人物ならアップや背景がシンプルな写真なら認識されやすく、精度はまずまずだ(①②)

グーグルの独自機能が光る

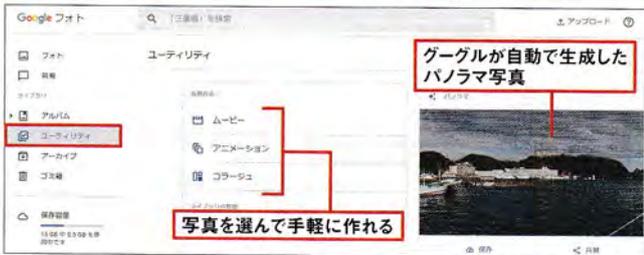


図12 グーグルフォトでは「クリエイティブ」を開くと、自動作成機能を利用できる。複数枚の写真を組み合わせた「ムービー」や「コラージュ」、連続写真からいわゆる「GIFアニメ」を生成する「アニメーション」を手軽に作成できる。一連の風景写真を横長に合成する「パノラマ」も自動作成される



図13 位置情報が記録されている写真をグーグルフォトの詳細情報で確認すると、グーグルマップ上で撮影場所が表示される。撮影場所の表示はアマゾンフォト(地図は英語)とワンドライブでも対応している

グーグルフォトの有料プランを契約



図14 グーグルフォトをほかのサービスで代替できないなら、容量不足の際は58ページ図1で「保存容量を追加」を押して、この画面で有料プランに申し込む。10テラ以上の大容量プランに申し込むには、2テラ以下の有料プランを一度契約する必要がある。ちなみに、有料プランは基本容量の15ギガを含んでいる。例えば月100ギガのプランを契約すると総容量が100ギガになる(115ギガにはならない)



図15 図14で有料プランを選択すると、グーグルプレイの購入画面が表示される。グーグルアカウントに支払情報が登録されていれば、この画面で「定期購入」を押すだけで申し込みは完了する。なお、契約を解除したい場合はグーグルプレイから定期購入を取りやめる必要がある

共有機能はアマゾンフォトに注目

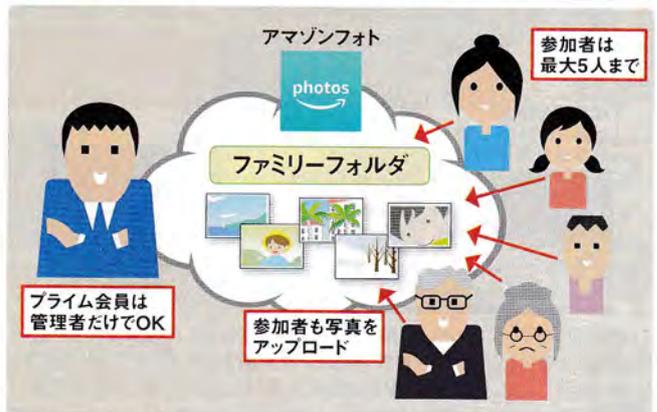


図9 3つのサービスはいずれも写真を集めたアルバムを作成し、オンラインで共有可能。アマゾンフォトでは通常のアルバム機能に加えて「ファミリーフォルダ」を用意。プライム会員以外でも最大5人まで写真を容量無制限で共有できる(動画は5ギガまで)



図10 招待するには、画面左で「ファミリーフォルダ」を選択(1)。「他を招待」を押して相手のメールアドレスを入力して招待メールを送信する(2)。招待者が承諾するとこの場所にアップロードした写真を参加者全員で共有できる。参加者はアマゾンのアカウントでのサインインが必要だ

スマホ用アプリは3者そろい踏み



図11 スマホで撮影した写真や動画をクラウドに自動アップロードできるアプリは3サービスともにそろっている。いずれもアルバムの作成も可能だが、ワンドライブはファイル向けのクラウドなので、検索や編集などの機能面ではほかより劣る



6月以降もクラウドに写真を容量無制限で保存したい……。そんな人が「アマゾンフォト」から移行するならば、「アマゾンフォト」一択だ。プライム会員なら追加料金は不要。動画は制限があるものの、「写真は容量無制限なので、写真メインであればアマゾンフォトに比肩する実力を持つ。データを引っ越しする場合でも、アマゾンフォトからファイルを一括ダウンロードして、それを

アマゾンフォトにアップロードし直すだけだ。アップロードを自動化するツールもあるため、手間はかからない(図1)。
アマゾンフォトは、オンラインストレージの「アマゾンドライブ」の一部で、プライム会員向けとして写真・動画に特化したサービスだ(図2)。前述の通り写真は容量無制限で、動画は5ギガまで無料で保存できる(図3)。ただし

落とし穴もあり、この5ギガ分はアマゾンドライブと共通。アマゾンドライブに保存した文書ファイルなども容量計算に含まれる(図4)。
アマゾンフォト上にあるデータのダウンロードには、58ページ図3〜図5で紹介したエクスポート機能を使う(次ページ図5)。その際、付加情報を記した「JSON(ジェイソン)」という形式のファイルも多数ダウンロードされ

るが、アマゾンフォトでは不要なのですべて削除しておくといよい(図6)。
専用ツールで楽々アップロード
検索も編集もなかなか役立つ

アマゾンフォトへのアップロードは、パソコン用の専用ツール「アマゾンフォト」を利用しよう(図7〜図9)。
自動アップロードの対象フォルダーは、初期設定時は「ピクチャ」と「ビデオ」しか選択できないが、後から追加できる。容量が無制限ではない動画を対象外にしたり、同じファイルの二重アップロードを避けたりするのも設定のポイントだ(図10)。
アマゾンフォト上の写真や動画は、

一括ダウンロードで引っ越しも楽々



図1 Googleフォトからアマゾンプライム会員向けのクラウドサービス「アマゾンフォト」には、上記の流れで引っ越せる。すべて手作業でも可能だが、自動バックアップができる専用ツールを使ったほうが断然楽だ

アマゾンフォトはアマゾンドライブの一部



図2 アマゾンフォトは有料のプライム会員向けサービス。関係がややわかりにくいですが、クラウドストレージ「アマゾンドライブ」の一部で写真に特化したサービスだ。写真は容量無制限。それ以外の動画は5ギガまでとなっている。ちなみに、アマゾンドライブ上でも、図3の容量無制限の条件に合ったファイルは容量を消費しない

容量無制限

写真/画像

JPEG/BMP/PNG/GIF/TIFF/HEIF/HEVC/HEIC/RAW (主要な形式)

5ギガまで

動画

MP4/QuickTime/AVI/MTS/MPG/ASF/WMV/Flash/HEIF/HEVC/OGG

図3 アマゾンフォトは主要な画像形式を容量無制限でアップロードできる。動画などそれ以外の形式のファイルは5ギガまで。容量は100ギガ〜30テラの有料プラン契約で追加が可能だ

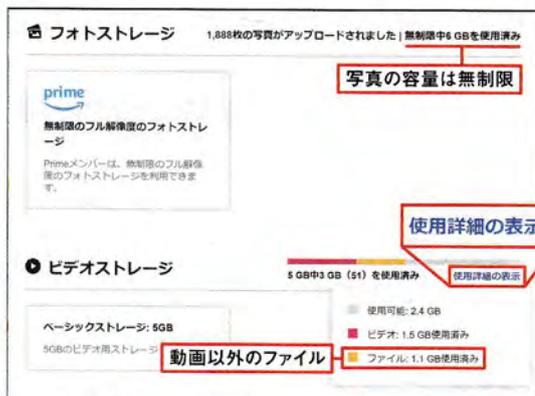
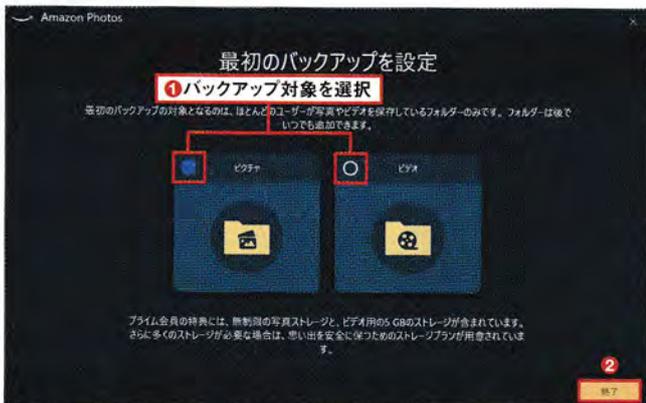


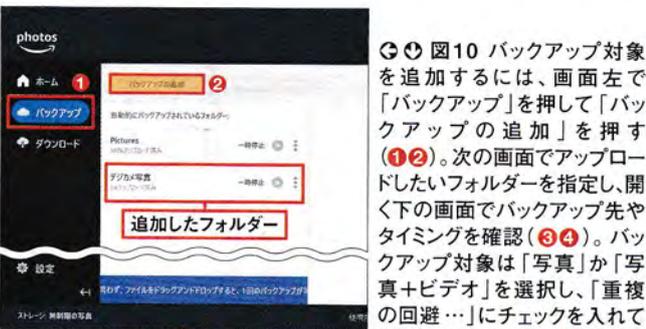
図4 アマゾンフォトで「ストレージ」→「ストレージの管理」、アマゾンドライブで「ストレージの管理」を選択するとこの画面が開く。写真は無制限だが、それ以外の動画などは5ギガまでの制限がある。「ビデオストレージ」の「使用詳細の表示」を押すと、動画以外も容量を消費していることがわかる



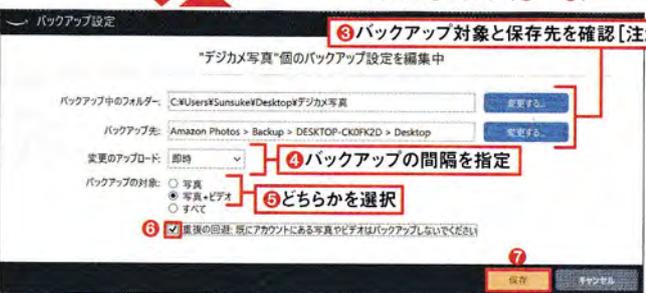
⑧ 図8 初回はバックアップ対象を選択する。ここでは写真が入っている「ピクチャ」を選択したが(1)、後から任意のフォルダーを追加することも可能だ(図10)。右下の「終了」を押す(2)



⑨ 図9 インストール後は、デスクトップ画面に作られるショートカットの「Amazon Backup」から起動できる。図8のように設定した場合は「ピクチャ」内のファイルのアップロードが始まる。この画面に直接ファイルをドラッグしてもアップロードできる[注1]

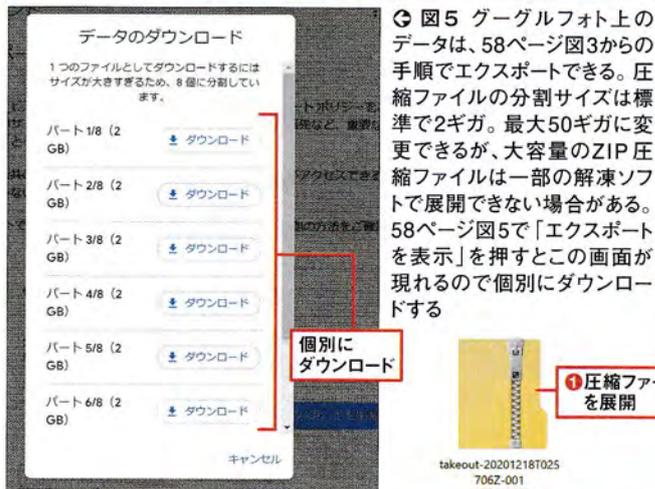


⑩ 図10 バックアップ対象を追加するには、画面左で「バックアップ」を押して「バックアップの追加」を押す(1)。次の画面でアップロードしたいフォルダーを指定し、開く下の画面でバックアップ先やタイミングを確認(3)。バックアップ対象は「写真」か「写真+ビデオ」を選択し、「重複の回避…」にチェックを入れて「保存」を押す(5~7)

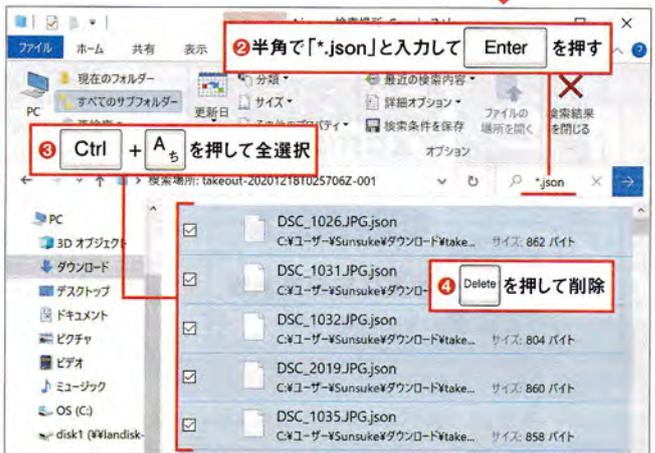


[注1]インストール後にSDカードやUSBストレージをパソコンに接続すると「AutoConnect」という画面が現れる。「開始」を押すと図10下の画面が現れ、自動アップロードの設定ができる

グーグルフォトの写真を一括ダウンロード



⑤ 図5 グーグルフォト上のデータは、58ページ図3からの手順でエクスポートできる。圧縮ファイルの分割サイズは標準で2ギガ。最大50ギガに変更できるが、大容量のZIP圧縮ファイルは一部の解凍ソフトで展開できない場合がある。58ページ図5で「エクスポートを表示」を押すとこの画面が現れるので個別にダウンロードする



⑥ 図6 圧縮ファイルをすべてダウンロードしたら展開する(1)。ここには写真や動画のファイルのほか、付加情報を記録した「JSON」ファイルなどが入っている。JSONファイルは不要なので削除しておこう。展開したフォルダーの一番上の階層で検索欄に半角で「*.json」と入力して「Enter」キーを押す(2)。該当ファイルを「Ctrl」+「A」キーを押して全選択したら「Delete」キーを押して削除する(3、4)

アップロードは専用ツールが楽



⑦ 図7 上記のURLを開いたら「アプリのダウンロード」を押し、ダウンロードしたファイルを実行。インストールが始まるのでプライム会員のアカウントでログインする(1、2)

スマホ写真のアップロードもOK

Amazon Photos
提供:アマゾン

無料

アンドロイド iOS

ストレージ
無制限のフル解像度のフォトストレージを無料でご利用いただけます。

自動保存
このデバイスから自動的に写真とビデオをバックアップします。

モバイルデータ
Wi-Fiが利用できないときはモバイルデータを使用してバックアップします。

1 オンにする

2 終了

3 ほかのファイルも保存したいならオンにする

4 自動保存に追加

3 ほかのファイルも保存したいならオンにする

"Screenshots"を自動保存しますか?
このフォルダー内の写真やビデオは自動的にAmazon Photosに保存されます。

すべての新規フォルダーに対して実行

設定

4

キャンセル 自動保存に追加

図13 アプリの初回起動時はプライム会員のアカウントでサインインし、左の画面で「自動保存」をオンにして「終了」を押す(1,2)。続いてほかの保存先もアップロード対象にするか確認される(上)。追加するなら「すべての…」にチェックを入れて「自動保存に追加」を押す(3,4)

撮影場所やタグの名前で検索

写真の表示方法の変更

自動でタグ付け

自動認識された人物

撮影場所

図11 ブラウザーでアマゾンフォトを開くと、アップロードされているファイルを確認できる。「フィルター」で写真と動画を別々に表示したり、アップロードや撮影した年、自動でタグ付けされたジャンル、撮影場所などから効率的に絞り込んで表示したりできる

特集
Googleフォト

撮影場所や自動で付けられたタグから検索

写真・動画を一覧表示

ファミリーフォルダを表示

アルバムの作成・表示

写真の設定

2 ストレージプランを管理

自動保存

ファミリーフォルダ

イメージ認識

3 バックアップ対象の選択

写真

ビデオ

4 対象フォルダーの指定

図14 上がアマゾンフォトアプリのメイン画面。画面上部で撮影場所などで検索が可能。画面下には、ファミリーフォルダの表示(62ページ図9、図10参照)、アルバムの作成・表示などのボタンが並ぶ。「その他」から「設定」を開いて「自動保存」を押すと(1,2)、バックアップするファイルの種類と対象フォルダーを指定できる(3,4)

保存時は上書きされない

モノクロ化、レトロ調、アナログ風など多彩な特殊効果

写真の上に文字を配置

真四角やワイド、指定した比率で切り抜き、反転・回転など

明るさやコントラスト、ハイライトとシャドウなどの調整

一眼レフのようなぼかし効果

図12 写真閲覧時に画面の右上の「…」を押して「写真を編集する」を選択すると、回転や切り抜き、フィルターといったひと通りの加工が可能だ。編集結果は元の写真には反映されない

ワンドライブへは直接転送が可能

2 ファイル形式、エクスポート回数、エクスポート先の選択

配信方法

1 ダウンロードリンクをメールで送信

Google ドライブに追加

Dropbox に追加

OneDrive に追加

Box に追加

2 ワンドライブに直接転送

図15 グーグルフォトのエクスポート機能ではファイルのダウンロードが可能だが、58ページ図4でワンドライブなど一部のクラウドサービスに直接データを移行できる(1,2)。ワンドライブ側には「アプリ」フォルダーが作られ、直接ZIPファイルが保存される

アップロード順や撮影日順に並ぶ(図11)。AIによる自動のタグ付けはそこそこ優秀で、被写体や人物で検索できる。写真の編集機能も充実しており、回転や切り抜き、特殊加工、ぼかし効果などがそろっている(図12)。

スマホの写真や動画を自動アップロードできるアプリも用意されている(図13)。標準では撮影データのフォルダーが対象だが、動画を除外したり、スマホごとのフォルダーを追加したりできる(図14)。

なお、グーグルフォトからワンドライブに引越す場合は同様にエクスポート機能を使うが、ZIP形式で直接転送することも可能だ(図15)。

[注2]標準ではバックアップ先はパソコンのフォルダー構造が反映される。支障があれば事前にアマゾンドライブ側にフォルダーを作って指定するとよい

「有料プランですと料金を支払い続けるのは嫌」「動画も保存したいのでアマゾンフォトはNG」という人は、いっそクラウドストレージを諦めて、自宅のストレージに保管するのも手だ。その場合、ネットワーク対応の外付けハードディスク(HDD)が大本命(図1)。いわゆる「NAS」と呼ばれる製品だ。スマホで撮った写真や動画をネット

トワーク経由で自動保存したり、外出先からNASのファイルにアクセスしたりすることも可能。クラウドストレージに近い使い勝手を実現できる。いわば「プライベートクラウド」だ。NASの魅力はランニングコストの安さ(図2)。Googleフォトの同容量の有料プランと比べても1年で元が取れる。故障や自然災害に弱いといった

短所はあるものの(図3)、HDDを2台内蔵してデータを二重化する「ミラーリング」に対応した製品なら、故障への備えも万全。それでもGoogleフォト2年分ほどの価格だ。ここではアイ・オー・データ機器のNASを紹介しよう(図4、図5)。パソコンの内蔵ストレージにある写真、動画をNASに自動保存するには、

Windows10の標準機能「ファイル履歴」を利用するのが手っ取り早い(図6、図9)。ただし、機能は最低限なので、バックアップ専用のフリーソフトを使うのもよいだろう。スマホからNASに自動保存するには、専用アプリを利用する(図10、図11)。自宅のネットワーク接続時にアプリを起動するとNASに自動転送される。

ネットワーク対応HDDならクラウドに近い使い勝手



図1 NASは「Network Attached Storage」の略称で、ネットワーク対応HDDとも呼ばれる。有線LANで家庭内のネットワークに接続し、複数のパソコンやスマホで利用できる。インターネット経由で外出先からもアクセスできる製品が多い

長く使うならNASのコスパが圧倒的

アイ・オー・データ機器 HDL-TA シリーズ	1ドライブモデル	アイ・オー・データ機器 HDL2-TA シリーズ	2ドライブモデル
	Googleフォトの約1年分		Googleフォトの約2年分
実売価格	1テラ / 1万2600円 2テラ / 1万3500円 3テラ / 1万5300円 4テラ / 2万1700円		2テラ / 2万6400円 4テラ / 2万9000円 6テラ / 4万1600円 8テラ / 5万5900円

図2 入門者向けのNASは2テラで1万3000円台と、Googleフォトの同容量の有料プラン1年分とほぼ同額(60ページ図1参照)。USB端子を搭載し、ここに外付けHDDを接続すれば自動バックアップも可能だ。ただ、バックアップのための増設や設定が面倒なら、「RAID 1」(ミラーリング)対応でデータを二重化できる2ドライブモデルをお勧めしたい(写真右)[注1]

NAS

- クラウドの有料プランの1~2年分で導入できる
- オリジナルの画質のまま保存できる
- ✗ 常時電源を入れている必要がある
- ✗ 故障・自然災害には弱い

クラウド

- 自分でバックアップを取る必要がない
- 必要に応じて容量を増減しやすい
- ✗ 永続的に料金がかかる
- ✗ サービス内容の変更や終了が突然起こり得る
- ✗ データ消失や漏洩が絶対にはないとはいえない

図3 図2のように単純なコスパでいえばNASが有利。とはいえ、NASは故障や自然災害に弱く半永久的には使えないのが短所だ。対してクラウドは毎月・毎年費用がかかるのがネック。だが、サービスが続く限りデータが守られる点で安心感がある

[注1] 外出先からNASにアクセスできるかどうかは環境にもよる。アイ・オー・データ機器製のリモートアクセス対応NASが自宅の環境で使用できるかを自動診断する「ホームネットワークチェッカー」で事前に確認するとよい



図8 タスクバーの検索欄に「バックアップ」と入力し、現れた候補から「バックアップの設定」を選択。開く画面で「ドライブの追加」を押したら、バックアップ先としてNASを選択する(1)(2)

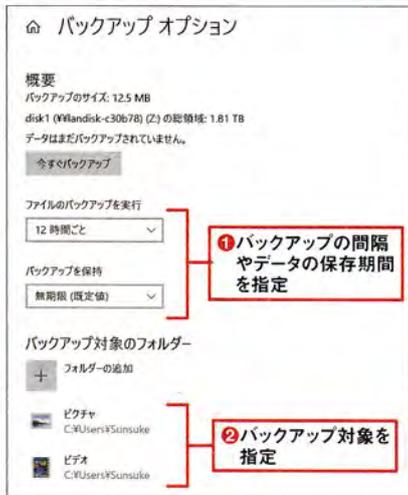


図9 バックアップ先を指定後、図8で「その他のオプション」を押すとバックアップの間隔やデータの保存期間を変更できる(1)。バックアップ対象は標準で「ピクチャ」「ビデオ」などが指定されており、追加や除外が可能だ(2)。仕様上、深い階層にあるフォルダーを単独では指定できない場合がある[注2]

スマホアプリで自動バックアップ



図10 「フォトクリップ」アプリは初回起動時に保存先を指定(1)。以降、自宅のネットワーク接続時にアプリを起動すると、スマホ内の写真・動画ファイルをNASに自動で保存する(2)。NAS内では撮影年と月ごとにフォルダーを作成して割り振られる。なお、NAS内のファイルにアクセスするには「Remote Link Files」などのアプリが別途必要だ

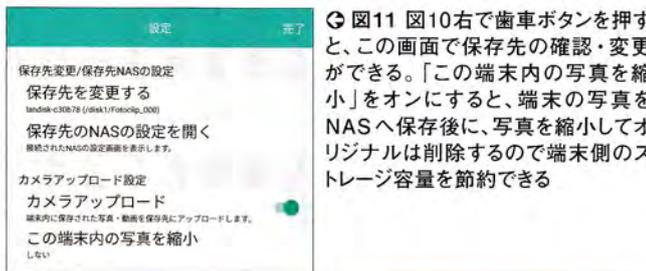


図11 図10右で歯車ボタンを押すと、この画面で保存先の確認・変更ができる。「この端末内の写真を縮小」をオンにすると、端末の写真をNASへ保存後に、写真を縮小してオリジナルは削除するので端末側のストレージ容量を節約できる

ウィンドウズの標準機能でNASに保存

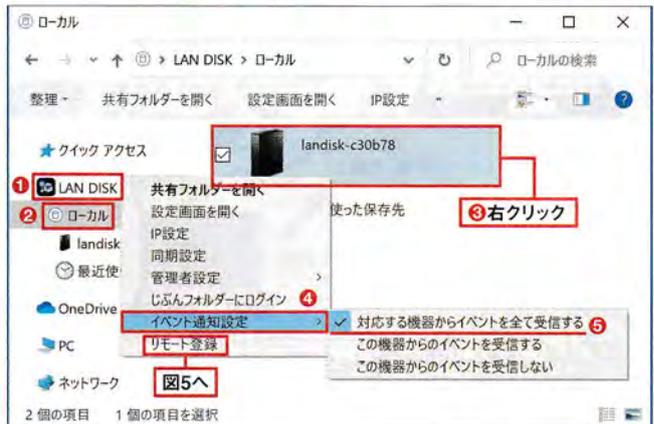


図4 ここでは図2左のアイ・オー・データ機器「HDL-TA」シリーズを例に取り上げる。NASを家庭内のネットワークに接続したら、パソコンに上記のソフトをインストール。これでエクスプローラーからアクセスできる(1)(2)。初回は障害時などに通知が届くように設定しておく(3~5)



図5 インターネット経由でNASにアクセスできるようにするには、図4で「リモート登録」を選択。NASの管理画面が開いたら「Remote Link 3 設定」を選択し(1)、「利用を開始する」を押す。「アクセス許可フォルダー」を指定して「設定」を押す(2)(3)

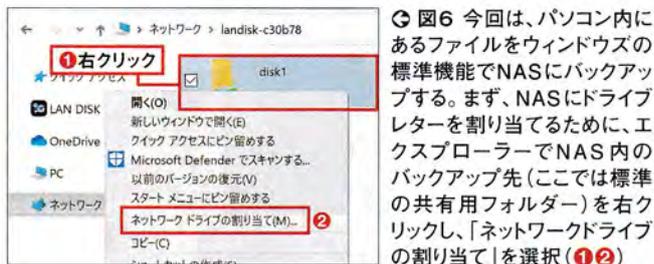


図6 今回は、パソコン内にあるファイルをウィンドウズの標準機能でNASにバックアップする。まず、NASにドライブレターを割り当てるために、エクスプローラーでNAS内のバックアップ先(ここでは標準の共有フォルダー)を右クリックし、「ネットワークドライブの割り当て」を選択(1)(2)



図7 ほかのドライブレターと競合しないようにここでは「Z」を選択し(1)、「サインイン時に再接続する」にチェックが入っていることを確認したら(2)、右下の「完了」をクリックする

編

Googleフォトの容量無制限サービスは5月末で終了するが、5月までにアップロードしたデータは、その後も容量制限の対象にならないとGoogleは説明している。とすれば、5月末までに「高画質」でアップロードしておけば、15ギガの容量をオーバーしていても困らない。つまり、制限がかかる前にできるだけアップロードを済ませておくの

が得策といえる。

大量の写真や動画をまとめてアップロードするなら、Google純正のツールを使うとよい(図1)。Googleフォトでは幅広い画像・動画の形式に対応する(図2)。今のうちにどんどん自動アップロードしておく。

パソコンから自動アップロードするには「バックアップと同期」というツ

ルを利用する(図3、図4)。容量無制限の条件は、図5で「高画質」を選択すること。併せてアップロード対象のフォルダーを指定しよう。デジタル一眼などの高画質形式の「RAW」も対象にできる。すでにGoogleフォト上にある同一の写真と動画は、基本的に重複してアップロードされることはない。一方、スマホから自動アップロード

するには、「Googleフォト」アプリを使う(図6)。アンドロイド端末なら最初からインストールされているはずだ。初期設定時は、アップロードをWi-Fi接続時限定のままにするのが無難。スクリーンショットなどもアップロード対象に追加可能だ(図7)。

パソコン&スマホから“手放し”アップロード

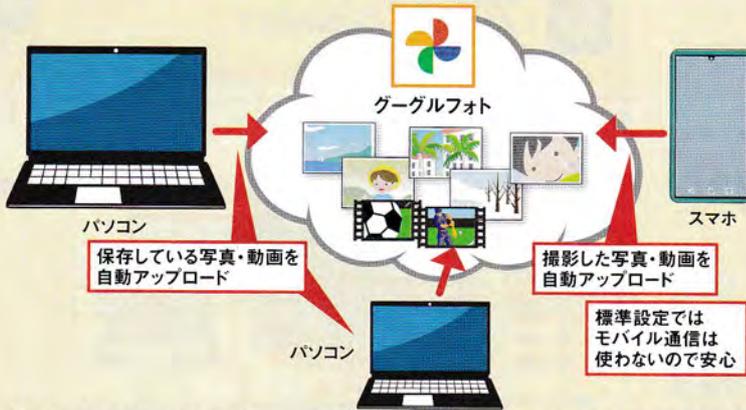


図1 Googleフォトの専用ツールを使えば、パソコンやスマホから写真・動画を自動でアップロードできるので手間いらず。「高画質」の設定なら、指定の解像度を超える場合は自動縮小されるが、5月までなら容量は無制限だ(56ページ参照)

主要な形式はほとんどカバー

●写真/画像

jpg/png/webp/gif/RAW(一部)/
Live Photos(iOS端末で「Googleフォト」アプリを使用する場合)

●動画

mpg/mod/mmv/tod/wmv/asf/avi/divx/mov/m4v/3gp/3g2/mp4/m2t/
m2ts/mts/mkv

図2 Googleフォトでは、一般的な写真・画像、動画の形式はほとんどカバーしている。アップルのクラウド以外でiOS端末独自のLive Photos(ライブフォト)にも対応しているのは珍しい。ただし、容量200メガ超あるいは1億5000万画素超の写真、10ギガ超の動画は非対応

専用ツールで自動アップロード



バックアップと同期 (Backup and Sync from Google)

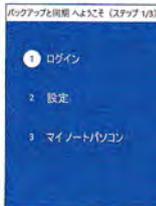
提供: Google

無料

対応OS: 10 / 8.1

<https://photos.google.com/apps>

図3 上記のURLを開いて「ダウンロード」を押し、ダウンロードしたファイルを実行して「バックアップと同期」をインストール。初回起動時にGoogleアカウントでログインする(1,2)



Google
アカウント1つですべてのGoogleサービス。



図4 この画面で「写真と動画をバックアップ」を選択して、右下の「次へ」を押す(1,2)



圧縮しても見分けがつかないほど高画質



図8 「高画質」の設定でアップロードした写真を拡大してオリジナルと比較した。容量は2割近くに圧縮されながらも見分けがつかない。1600万画素を超える写真はこのサイズに自動で縮小されるが、A4いっぱい印刷するなら十分。一方、動画はフルHD（垂直解像度1080ピクセル）に圧縮されるが、DVDに比べて2倍以上解像度は高い



スマホのストレージを節約



図9 スマホの内蔵ストレージに余裕がなければ、データをGoogleフォト上だけに残して端末側から削除する機能が役立つ。図7左のユーザーのアイコンを押して「フォトの設定」を選択して、「空き容量を増やす」を押して、次の画面で削除を実行する

オリジナルのデータは失われるので要注意!



図10 図9を実行すると、Googleフォトにアップロード済みの写真や動画が端末の内蔵ストレージからすべて削除され、クラウド側だけに残る。「高画質」でアップロードしている場合は、端末内の圧縮前のオリジナル版が失われる点を理解したうえで実行すること

の動画はそれ以下に縮小され、画質も下がる。とはいえ、オリジナルとはほとんど見分けはつかず、圧縮の技術は優秀だ(図8)。

Googleフォトのアプリの動作は、一方通行のバックアップではなく、双方の「同期」になるので、ファイルの削除には要注意。アプリまたはブラウザ上で削除すると、端末内のオリジナル版も一緒に削除されてしまう。端末の内蔵ストレージを空けたい場合は、アプリの「空き容量を増やす」からまとめて削除するのとよい(図9、図10)。なお、高画質でアップロードしていた場合は、圧縮前のオリジナル版が消える点は承知のうえで実行しよう。

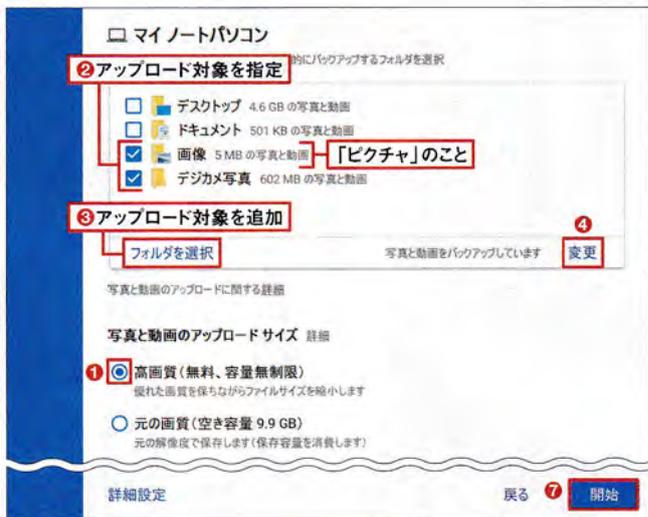


図5 5月までに容量無制限でアップロードしたい場合は、「高画質」を選択し(1)、アップロード対象のフォルダにチェックを入れる(2)。フォルダを追加したい場合は「フォルダを選択」を押して次の画面でフォルダを指定(3)。「変更」を押すと、アップロードするファイルを指定できる(4~6)。最後に「開始」を押す(7)[注]

スマホからも自動アップロード

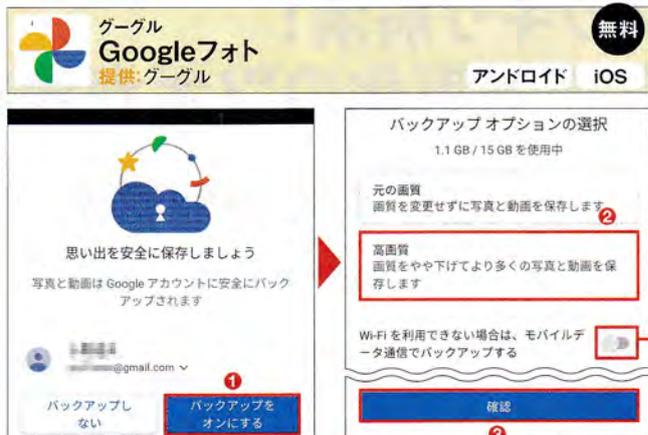


図6 スマホの「Googleフォト」アプリの初回導入時に左の画面が現れたら「バックアップをオンにする」を押し(1)、右の画面で「高画質」を選択して「確認」を押す(2,3) オフのままにしておく



図7 自動で端末内の写真・動画のアップロードが始まる。設定を変更したい場合は画面右上のユーザーのアイコンを押して「フォトの設定」を選択(1)。次の画面で「バックアップと同期」→「デバイスのフォルダのバックアップ」と順に選択すると、バックアップ対象を追加できる(2)

[注] インストール後にSDカードやUSBストレージをパソコンに接続すると、「写真をバックアップ」という画面が現れる。「後で」と「バックアップ」の選択肢があり、後者を選ぶとGoogleフォトとGoogleドライブの両方にアップロードされる